

抗菌・防カビ・防藻

**EC  
アクアコート**

*EC company corporation*

# 汚れの多くは、カビの発生が原因です！

■アクリルリシンの吹付



汚れ(カビ)

■漆喰の外壁と塀



汚れ(カビ)

■化粧ブロックとコンクリート基礎



汚れ(カビ)

## ～アクリル樹脂系材料（コテ・塗料）～

一般的な外壁・外構塗材として使用されていますが、これらの材質は通気性がなく、静電気を起こすため汚れが付着し、カビ等を発生します。

## ～漆喰壁～

吸放湿性能がある材質ですが、梅雨時期など雨が降り湿度の高い状態が続くと、放湿する力が弱くなりカビが発生します。

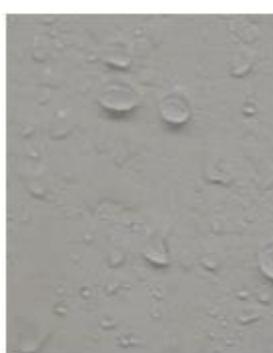
## ～木材～

水分の吸い込みが多く乾燥しにくい材質の為、カビが発生し腐りやすくなります。

カビの発生は、水分の吸収から始まります。

ECアクアコートは、この水分を遮断するコート材！

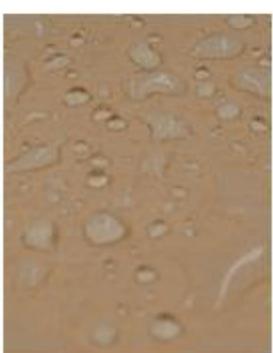
下記は、ECアクアコート施工後の撥水試験です。



漆喰



アクリル コテ



アクリル リシン



ヒノキ



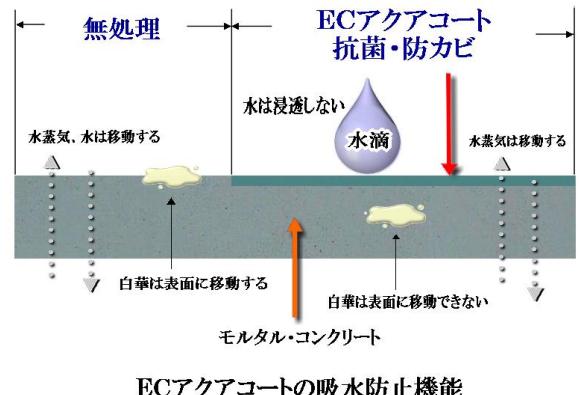
スギ

# *ECアクアコートは 防カビ・防藻・抗菌力のある浸透性吸水防止剤です。*

ECアクアコートは反応性水溶製品です。

反応は基材に塗布した後に始まり乾燥と共に無機質化することで抗菌・防カビ機能が塗布層全体に形成します。

ECアクアコートを塗布することで建材の毛細管現象による吸水を低減させる効果は、建材の毛細管や細孔をふさぐことはありませんので「通気性」を損なわずに吸水防止処理をすることが出来ます。



## 【特徴】

- 抗菌・防カビ機能をもつ浸透性吸水防止剤です。
- 無機系シロキサンをベースの有機溶剤を含まない水性タイプ。
- 通気性を持った防水層を形成し、バクテリア等のすみやすい環境を断ちます。
- 従来のコーティング材と異なり、施工面に光沢が出ない為、基材本来の風合いを生かせます。(重ね塗りOK)

## 【用途】

- 木材(杉、ヒノキ、米マツ)等
- 珪藻土、漆喰壁、じゅらく、京壁、セメント系壁
- アクリル、シリコン樹脂系コテ、吹付材
- セメント目地、モルタル、コンクリート、レンガほか
- 畳、その他吸水性のある基材

※一部の基材には効果が無いことがあります。

## 【使用例】

- ①屋内外の化粧仕上げの木部に塗布することでシミやカビの発生を防止
- ②漆喰、珪藻土、聚楽壁の汚れ防止、シミ、カビの発生防止
- ③外壁の塗り壁、吹付材等の汚れ防止、シミ、カビの発生防止
- ④エアコン内部のカビや細菌の繁殖を抑え、カビによる臭いを抑止
- ⑤洗面、台所等の湿度の高い箇所
- ⑥押入れ、畳へのカビ対策

## 【使用方法】

100cc/m<sup>2</sup>～300cc/m<sup>2</sup>

ローラーやハケ・噴霧器を使用して  
均一になるよう塗布してください。



## 【塗布上の注意】

- ・カビが生えている場合はカビ取り剤等で除去してから使用してください。
- ・最初に目立たないところで塗布試験を行い、適切な使用量を決定し、塗布後の表面に異常がないことを確認して下さい。
- ・新設モルタル・コンクリートに塗布する場合、1～2週間経ってから行って下さい。
- ・下地は、ブラシやエアーコンプレッサーなどを使用して表面の埃などを取り除いて下さい。  
こびり付いた油分などはスチーム等を使用して取り除いて下さい。
- ・乾燥した部分に行い、湿り気の多い部分には使用しないで下さい。
- ・予備試験を行い、塗布や変色の有無などを確認してから使用して下さい。
- ・木材の吸水率が高い場合は塗布量が増加する場合があります。

## 【取扱上の注意】

- ・保護マスクや保護眼鏡などの保護具を着用して使用して下さい。
- ・使用する環境(特に屋外でのスプレー塗布)に応じて飛散防止対策を行って下さい。
- ・納入後6ヶ月以上経過したものを使用する場合には、用途に応じて品質に問題ないかを確認してから使用して下さい。

## 【保管上の注意】

- ・0°C以下および30°C以上になる場所に保管しないで下さい。
- ・直射日光のあたる場所には保管しないで下さい。
- ・沈殿物が有りますのでよく振ってからご使用ください。

## 【備考】

- ・塗布する対象物や塗布方法、塗布量により、塗布後の撥水状態は異なります。
- ・ご使用に際しては事前にテストを行い、使用目的に適合するか必ずご確認下さい。
- ・この製品をご使用になる前に、製品安全データシート(MSDS)を必ずお読み下さい。